

お詫びと訂正

『日本獣医生命科学大学 獣医学部』（2023年度初版 第1刷）英語、数学、生物に解答の訂正がございます。深くお詫び申し上げますとともに、下記のとおり、訂正させていただきます。

●訂正内容：令和4年度 英語（48p, 49p）

○第1回 大問Ⅰ. 問1. (a), (c) (48p)

〔解答〕 (a)

誤 ④ → 正 ③

(b)

誤 ⑤ → 正 ③

○第1回 大問ⅡB.1 (49p)

誤 covered → 正 uncovered

〔出題者が求めたポイント〕（以下の通り訂正）

B. 1. leave the pot uncovered 「鍋を蓋をはずしたままにする」

（leave O C 「O を C のままにしておく」）

●訂正内容：令和4年度 数学 大問Ⅴ問3 (52p)

〔解答〕 正答 1

●訂正内容：令和4年度 生物 大問Ⅲ問4 (60p)

〔解答〕 (1)

誤 ⑤ → 正 ⑥

(2)

誤 ⑤② → 正 ③⑤⑧

(3)

誤 ⑤⑨ → 正 ⑧⑨

[出題者が求めたポイント] (60p) (以下の通り差し替え)

- 問4.(1)汚水中の有機物を分解するのは主に細菌である。
- (2)選択肢で迷うのは藻類と緑藻を分けている点である。緑藻は汚水流入地点から下流へと進んだ地点で生えるシオグサを指すものとする。汚水の流入からの回復を考えると、その程度と経過によって、複雑な生物相の変化がある。ここでは単純化して、汚水流入直後として考えることにすると、③硝酸イオン、⑤溶存酸素量と⑧藻類があげられる。
- (3)回復の過程で、無機塩類が増加すると、⑧藻類と⑨緑藻類がそれを利用して一時的に増加する。